

Face to Face

「フェイス トゥ フェイス」
笑顔でつなぐコミュニケーション

Vol.121
TAKE FREE

発行
星野新聞堂

<http://www.shinbundo.com>

2017
1月号
January



Face to Face Talk

北の国より見た景色

富良野自然塾 中島 吾郎
Goro Nakajima

来年3月に富士市ロゼシアターで上演される演劇『走る』。テレビドラマ『北の国から』で知られる作家・倉本聰^{くらもと そう}氏が脚本・共同演出を手がける話題作だ。長年にわたり演劇界を牽引し、つい先日、第一線からの引退を表明した倉本氏にとっては、まさに集大成の作品となる。

この興行の富士公演実行委員会を組織し、広報担当のプロモーターとして奔走するのが、今回紹介する中島吾郎さんだ。倉本氏の哲学や価値観に感銘を受けた中島さんは10年前に北海道富良野市へ単身移住し、NPO法人『富良野自然塾』のプロジェクトマネージャーとして、環境教育プログラムを実践している。観劇文化の縮小が指摘される中、『走る』の公演を機に地元富士市の文化活動を盛り上げたいと語る中島さん。その柔軟な発想力と行動力によって、活躍のフィールドは着実に広がりがつつある。

富士市出身の中島さんですが、現在は北海道にお住まいとのことですね。

「作家の倉本聰が理事長を務めるNPO法人『富良野自然塾』で働いています。倉本聰といえば俳優や脚本家を養成する『富良野塾』が有名ですが、自然塾も同じく北海道富良野市を拠点とした組織で、環境教育活動を行っています。ゴルフ場の跡地を植樹によって森に還す取り組みや、地球の歴史46億年を模した460メートルの道を作り、環境について学ぶ『地球の道』というプログラムなどが主な事業です。『地球の道』は参加者自身が自然の中で歩いた時間や距離を通じて体感的に学べる仕組みで、倉本聰監修による演劇的手法が取り入れられています。演劇では何もないところでドアを開く仕草をしたり、舞台袖に向かって話したり、実際にそこにはないものの存在を感じさせる技術を使いますが、このプログラムでもただ情報を説明するだけではなく、参加者との対話で想像力と好奇心をかきたてながら引き込んでいきます。僕も現場に出る前には伝え方、目線、間合い、滑舌、声の大きさなど、倉本先生から厳しい稽古を受けました。演劇と同様に役者と観客の間に双方向の関係性がある、そこにさまざまな演出効果が加わって作り出されるライブ感が一番の魅力だと思います。」

上場企業の社員を辞めて北海道に移住した経緯は？

「いろんなタイミングが重なったという感じです。以前から大ファンだった倉本先生が始めた富良野自然塾の求人を見て、最初の動機は不純なんですけど、応募して面接まで行けば本人に会えるかなと思ひまして(笑)。本当に面接まで進んだところで、倉本先生から夢を熱く語っていただき、その思いを実現しようと富良野行きを決意しました。実際にはこちらの都合は聞かずに、『それで君、富良野に来るの？来ないの？』という感じで半ば強引に口説いていただいたんですけどね(笑)。大学卒業以降、IT関連企業に7年間勤めていて、大きなプロジェクトにも関わっていましたが、富良野自然塾の理念に共感する気持ちと、倉本聰のそばで働きたいという思いが後押ししました。ちょうどその時は僕が30歳になる年で、身近で甥や友達の子どもの子が生まれて、子どもと関わる機会が多かったことも影響しました。僕自身は今も独身ですが、未来を担う子どもたちのためにどんな社会を築くべきか、地球をどんな形で残せるのか、自分にできることは何なのかということを考え始めた時期でした。日々

に疲れたIT企業のサラリーマンが憧れの田舎暮らしへ、というようなストーリーではなく、自分としてはあくまでもキャリアの延長線上でステップアップしたつもりです。実際に前職で培ったプログラミングやウェブサイト作成の知識は今も大いに役立っています。周りからは転職に反対もされましたし、この決断が正しかったのかどうか、最終的な答えは誰にも分かりませんが、充実した毎日であることは確かです。富良野自然塾の利用者は年間3千〜4千人ですが、これだけ多くの人へ環境に関するメッセージを発信できるのは幸せなことです。最初は後ろの方でつまらなそうにしていた子が最後には一番前で熱心に話を聞いてくれたり、後日手紙を送ってくれる子がいたり、直接的な反響があった時はなおさら嬉しいです。」

間近で見る倉本聰さんはどんな方ですか？

「他人にも自分にも厳しい方で、仕事に対する姿勢は並大抵ではありません。10年経った今でも接する時には緊張します。現状に満足することなく、どこまでも高みを目指す生き方には学ぶところが多く、この先も僕の人生の指針であり続けると思います。倉本先生は講演などでよく富士山の話をしします。まず聴衆に『この中で富士山に登ったことがある人はいますか？』と問うと、東京あたりでも半分くらいの人が手を挙げますが、そこで『でもそれは5合目からでしょう。じゃあ海拔0メートルから登った人は？』と聞くと、たいてい一人もいないんです。倉本先生はこれが今の社会の縮図だと指摘します。富士山という存在を車で行ける



富良野自然塾

ゴルフ場跡地を植樹により元の森に再生する自然返還事業と、訪れた参加者に地球や自然の大切さを伝える環境教育事業を行うNPO法人。作家・倉本聰氏が塾長(理事長)となり、2006年に発足。子どもから大人まで参加できる体感的なプログラムを通じて、環境問題の解決に努めている。写真右：倉本聰氏による講義(右奥が中島さん)

TEL：0167-22-4019 WEB：http://furano-shizenjuku.com/



NPO法人富良野自然塾 理事・プロジェクトマネージャー／富良野 GROUP 特別公演『走る』富士公演実行委員会

中島 吾郎

1977(昭和52)年3月12日生まれ(39歳)
富士市出身・北海道富良野市在住

なかじま・ころう／田子浦小、富士南中、富士高校を経て、法政大学工学部に進学。2000年に卒業後、富士通株式会社に入社。沼津工場での勤務を中心に、ソフトやシステムの開発事業に従事。2007年に同社を退社し、NPO法人『富良野自然塾』のスタッフとして北海道富良野市に移住。体験型環境教育プログラムのインストラクターとして活躍し、現在に至る。冬季には地元に戻り、『富士市環境フェア』でのブース出展や、富士市環境アドバイザーとして富士市内の小学校で環境問題に関する授業を行うなど、個人での活動にも精力的に取り組んでいる。来年3月に富士市ロゼシアターで上演される演劇『走る』のプロモーターとしても活動中で、富士市の文化力向上のため、地元の有志を募り立ち上げた実行委員会の中心的役割を担う。中島さんの活動全般についての問い合わせはメールにて、goro@eco-bu.com まで。

本物に触れたら、 人生が変わる

5合目から先しか考えず、それで良しとしてしまうから視野が狭くなってしまふ。本来はまず海拔0メートルの地点に立って、いろんな選択肢を考えながら向き合うべきなのに、さらに文明が進めば6合目までエスカレーター、7合目までヘリコプターとなって、結果的に人間の想像力はどんどん失われていく。だからこそ我々は常にゼロから始めよう、と。その考え方を『海拔0メートルの思想』と呼んでいます、富士市に生まれて、まさしく海拔0メートルからの富士山を見てきた僕にとっては特に感慨深い言葉でした。」

中島さんご自身の自然に対する思いはどのように養われたのですか？

「普通のサラリーマン家庭で育ちましたが、両親が山好きで、信州などによく連れて行ってもらいました。ファミコン全盛の世代ですが、ゲームよりも自然の中で遊ぶ方が好きでした。それと、やはり『北の国から』の影響は大きいです。小学3～4年生の頃、風邪で学校を休んだ時にたまたまテレビで再放送を観て、子どもながらに感動したのが最初でした。そこからのめり込んで、中学生の頃には小遣いで倉本先生の本を買うようになりました。『北の国から』では特に田中邦衛さん演じる主人公・黒板五郎の人間味溢れるキャラクターと、生きていく上で必要なものは水道も家も、何でも自分で作ってしまうエネルギーに刺激を受けました。もう35年以上前のドラマですが、そこには文明の進化とは対照的に人間そのものは退化していく現代社会への警鐘が込められていると思います。ちなみに、僕の名前は



『北の国から』『前略おふくろ様』『風のガーデン』などのヒット作を生んだ作家・倉本聡氏は、俳優・脚本家の育成や環境教育活動の推進に尽力してきたことでも知られる

主人公と同じ『ゴロウ』なので、不思議な縁も感じます。富良野に住んでいるとたまに、『黒板五郎から取った芸名ですか?』と言われるんですけど、本名ですよ(笑)。」

そんな中島さんが現在地元で広報活動をしているのが、倉本聡さんが手がける演劇作品『走る』ですね。

「『走る』の初演は1997年で、富良野塾の塾生たちの1年間の生活をマラソンに例えて描いた作品でした。上演中ずっと役者が走り続けるという独特な演出で、演劇の感動がスポーツの感動に太刀打ちできないと感じた倉本先生が、役者にアスリート並みの汗を流すことを求めて書き上げたものです。今回の公演ではそこに戦後70年間豊かさを求めて走り続けた日本人の姿を重ね合わせて、目指すべき社会のあり方や人が生きることの意味を問いかけます。主な出演者はプロの役者で、すでに稽古漬けの毎日を送っていますが、舞台では人間が走る姿そのものの美しさも感じてほしいです。また、各地域の一般市民から募った数十人のランナーが本番の舞台で実際に走るという斬新な試みもあり、舞台上を走る知人を偶然見つけるということもあるかもしれませんよ。今回は富良野以外にも全国16都市を回りますが、富士は最後の遠征地です。一度形が決まったら後はほとんど顔を出さないという演出家も多い中で、倉本聡は一切妥協せず、各公演ごとに演出をより良いものに変えていきます。その意味でも富士公演は全国ツアーを経た完成形の芝居になると思います。また、倉本先生はこの『走る』を最後に脚本家・演出家を引退する意向を

明らかにしています。倉本作品に生で触れることができるラストチャンスですので、ぜひ多くの方に観ていただきたいです。」

中島さんは『走る』の広報以外にも富士市で活動しているそうですね。

「冬の富良野は雪に覆われて屋外での活動ができなくなるため、その間は道内の小学校などへ出張授業に行くのですが、富士市で環境問題の講師を紹介する環境アドバイザーの制度があることを知り、5年ほど前から富士市内の小学校でも環境学習の授業をさせてもらっています。遠く離れた土地で暮らしてきたことで、違った角度から故郷を眺めることができるようにもなりました。今後も富良野が拠点にはなりますが、やっぱり富士が一番好きな町ですし、地元での活動にも力を入れていきたいです。環境教育では富士山というシンボルを背景とした『富士山自然塾』のようなプロジェクトもいつか実現させたいですし、文化面では今回の『走る』の公演にとどまらず、優れた作家の作品に触れることができる場を作れたらと思います。文化に親しむ、育むというのは一朝一夕にできることはありません。大切なのは、幼い頃から誰でも日常的に本物に触れられる環境を整えることです。ここでの本物とは、作家が有名かどうかではなく、真剣さや覚悟の度合いとして、プロフェッショナルが作り出したもの、という意味です。それともう一つ大切なのは、純粋に楽しめるかどうかです。文化だ芸術だと語っても、結局はそれを味わう人にとって楽しいものでなければ長くは続きませんし、人に伝えたい、勧めたいとは思いませんよね。本物の文化を大切に、身近で当たり前に共有できるように雰囲気、自分なりのやり方で次の世代に残していきたいと思っています。」

【表紙・撮影協力】 富士市文化会館ロゼシアター



富士市環境アドバイザーとしても市内の小学校で授業を行う



人は何のために走るのか
何に向かって走るのか

富良野 GROUP 特別公演『走る』
作・共同演出：倉本 聡 演出：中村 龍史
2017年3日3日(金)

富士市文化会館ロゼシアター 中ホール
19:00 開演 (18:30 開場) ※未就学児の入場不可

S 席：5,000円 A 席：3,000円 (全席指定・税込)
チケット取り扱い：チケットぴあ・ローソンチケットなど
問い合わせ先：静岡新聞社事業部
TEL：054-281-9010 (平日 9:00～17:00)

夢を求め、数々の困難に会い、悩み、苦しみ、挫折し、それでもゴールを目指して走り続ける若者たち。そして戦後において豊かさを求めて走り続けてきた日本人。それらの姿を重ね合わせた時、何が見えてくるのか？ マラソンを走る人々の姿から、人が生きることの意味を問いかける。作家・倉本聡氏がスポーツと演劇の融合を目指して生み出した当作品は、全編を通じて役者が走り続けるという異色かつ感動的な舞台となった。



樹木医が行く！

— 第17話 —

ロープを使って木に登る技

ツリークライミングやロープクライミングという言葉を知ったことはありますか？これは、ロープを使って木に登るための技術・技法です。最近はこの仕事をしている方もかなり増えてきました。仕事とは、たとえば高さ20メートルにもなる樹木の剪定作業や伐採作業、診断調査作業、治療作業などです。富士市内にも資格を取得して仕事をしている方がいます。

さて今回は宮城県仙台市にて、そんなロープを使った木登りの体験会に参加してきました。体験会のはじめはデモンストレーションとして、ベテラン技能者の方々による木登りでした。しかしそれは、すでに木登りという枠を超えたものでした。1本の木にスルスルと登り、樹上で木の上を枝から枝へとどんどん移動していきます。さらに別の木へと空中で移動していき、最後には登った木と別の木から地上へと戻ってきました。「ロープを使った木登り」として私が想像していたものを軽く超えるような凄い技術の連続でした。驚きました！現実には想像をはるかに超えているんですね。

デモンストレーションの後は、ベテラン技能者にサポートしてもらいながらの体験会でした。ロープを使って木登りをするといっても、技法も道具もいろいろあるということで、体験会では3種類の技法について体験す

ることができました。怖かったのですが、なんとか5～6メートルの高さまで登ることができたでしょうか。いい体験をさせてもらいました。最後は木登りに使う器具の展示会でしたが、実際に触ってみると、「たしかにそれぞれ全く違うんだな」と実感することができました。

体験会に参加して、ぜひともこの技術・技法を私の「樹木を診断する、治療する」という仕事に活かしたいと感じました。これを使うことにより、私ができることの幅を大きく広げてくれるだろうと思います。これまではなかなか調べることができなかった高所の診断・治療ができるようになります。そのためにはまず私が講習会に参加して、技術を習得する必要があります。なかなか大変です！

来年度、私が理事長を務めるNPO法人『樹木いきいき

プロジェクト』にて、ロープを使った木登り体験会を開催します。ただし、試験的に宮城県で行います。その後、運営面を固めてから静岡県での開催となっていくと思います。ぜひ興味のある方はそちらの情報もチェックしてみてください。



ベテラン技能者による木登りのデモンストレーション（注：私ではありません）



樹木医 **喜多 智靖** (きた・ともやす)

アイキ樹木メンテナンス株式会社 代表取締役
石川県金沢市出身 / 富士市在住

- 喜多さんのブログ『樹木医！目指して！』 <http://cya06337.blog43.fc2.com/>
- アイキ樹木メンテナンス株式会社 <http://aikijumoku-i-ra.jp/>
- NPO 法人『樹木いきいきプロジェクト』 <http://jumoku-ikiiki.org/>



フジサンタカイン

— 富士を訪れた外国人に 突撃インタビューしてみました —

11月上旬に富士山スカイラインが冬期閉鎖となり、富士山はまたしばしの間、「遠望を楽しむ山」となった。登山客がいないこの時期、富士・富士宮で外国人旅行者に会えそうな場所は限られる。今回は手堅く、富士山本宮浅間大社に狙いを定めて訪れてみた。

ところが、この日は好天ながらも参拝客が少なく、苦戦を強いられた。境内を行ったり来たりでひたすら待つこと約2時間。そろそろ心が折れそうになってきた頃ようやく、特大のスーツケースを持った男性二人組を発見。濃いサングラス、しかも寡黙で屈強そうなその姿に、一瞬声をかけることをためらったが、二人がおもむろに池の鯉を背景に笑顔で「自撮り」を始めたため、これはナイスガイに違いないと確信。インタビューを敢行した。



手水の作法を教えてほしいという要望があり、レクチャー中。「科学的にはきれいな水ではないかもしれないが、儀礼的にはきれいな水である」ということを説明するのに一苦労。

その予想通り、気さくに対応してくれたのはヤンさん(42歳)とペーターさん(38歳)の兄弟だ。出身はなんと、中欧のスロバキア。革命を経て1993年にチェコスロバキアから分離独立したスロバキアは、日本ではまだあまり馴染みのない国といえるだろう。取材時にも「どこに住んでいますか？」という質問に「ブラチスラバです」という答えが返ってきて、思わず目が点に。ブラチスラバがスロバキアの首都であることをその場で教えてもらうという失態を演じてしまった。

日本滞在は8日間とやや過密な日程で、取材の翌日には帰国の途に就くとのこと。時間を有効に使うため、宿泊先は全て事前にインターネットで予約し、新幹線のフリーパスを最大限に使って、東京・京都・広島などを訪問。ルートの最後に富士山周辺を巡っている最中だった。ここまでのハイライトとして挙げてくれたのは、広島県尾道市と愛媛県今治市を結ぶ、瀬戸内しまなみ海道。内陸国のスロバキアでは決して見ることができない雄大な海と島々を結ぶ橋の景色に魅了されたようだ。

日本の魅力について聞いたところ、ビデオゲームの制作に携わるヤンさん、IT関連企業に勤めるペーターさんともに、日本の科学技術には特に関心があるようで、「最先端の技術と古来からの伝統が混在しているところ」という。「新幹線を降りたらすぐに古い神社が現れるなんて、面白い！」という言葉も印象的だった。その一方で、



兄のヤンさん(右)と弟のペーターさん(左)。日本で気に入った食べ物を聞くと、うどん、たこ焼き、牛丼と、今すぐショッピングモールのフードコートへ招待してあげたいような品々が並んだ。



後日、スロバキアから編集部にもメールで届いた写真。瀬戸内しまなみ海道では橋の歩行者用道路でサイクリングを楽しんだという。

「日本人は宗教的に信仰していなくても、神社ではあんな風にちゃんと頭を下げたり手を叩いたりするんですね。それがとても不思議です」と、拝殿の前で参拝する人々をしげしげと眺めていた。

別れ際、「ここで僕たち外国人を見つけて取材したのは、偶然？」と逆質問があった。「いえ、お二人に会えたのは偶然ですが、外国人に会えたのは偶然じゃありませんよ。だって誰かに会えるまで、ここで2時間待ってましたから」と答えると、今度は二人の目が点になっていた。

君にぴったりの巣立ちの準備
心のこもった贈り物
ありがとうは君の元気な笑顔
入園・入学準備は
SUBAKOUBOU



SUBAKOUBOU 巣箱工房
coruri * hinatoco * Torinosu Yoga

SUBAKOUBOU
富士市浅間本町 4-11 TEL 0545-30-8174
営業時間 10:00 ~ 16:00
日・祝日定休 (不定休あり) 駐車場あり

SUBAKOUBOU 検索 

もういくつ寝るとお正月



きもの姿写真コンテスト作品募集！賞金 10 万円ほか
185 名様が入選！締切りは来年 1 月末日まで
●美しすぎる！とファンから絶賛された話題の新作
振袖が北斎のウィンドウに登場！
●きものファッション雑誌で人気の [髪かざり・クリ
スマス半衿・ショール・9 センチ高草履] せいぞろい

北斎

きものぎやらりー 北斎
富士市本町 14-1 TEL 0545-60-5945
営業時間 10:00 ~ 19:00
水曜定休 (祝日は営業)

きもの 北斎 検索 <http://hokusai.seesaa.net/>

平成29年 卒業式用
袴セット

卒業式用二尺袖着物
袴・半巾帯・腰ひも
帯板・重ね襟
をお付けいたします

- ・貸出し延長も承ります
- ・宅急便でそのまま返却可能
- ・汚れてもそのまま返却可能
- ・履物はオプションとなります
- ・着付けもいたします
- ・持込着物も着付けいたします

(要予約・有料)



貸衣装 **美翔**
BRIDAL FASHION
美翔
富士市錦町 1-2-15 TEL 0545-51-0075
営業時間 9:00 ~ 18:00
火曜定休 駐車場あり

富士市 美翔 検索 <http://bi-show1991.main.jp/>

ワンランク上の忘年会
まだまだご予約受付中!!



当店では厳選したA5/A4ランクのお肉をご提供。
くつろげる堀座敷や個室で幹事さんも安心です。

4,000 円コース 5,000 円コース 6,000 円コース
飲み放題プラン + 2,000 円
※価格はいずれも税別

和牛 精香園 - 今泉店 -

精香園 - 今泉店 -
富士市今泉 2386-3 TEL 0545-52-3356
営業時間 11:00 ~ 23:00
12 月中は休まず営業します



クリスマスをもっと特別な日に。
記念日のためのレストラン、ピュアエール。



国産牛サーロイン使用の
ローストビーフ〜トリュフの香り〜
フォアグラのボワレ

12/23(金祝)・24(土)・25(日)限定
X'mas ディナーコース
8,640 円 (税込)【要予約】

3 日間は X'mas ディナーコースのみの営業となります。

Pure Aile

ピュアエール
富士市中里 194-2 TEL 0545-34-1181
11:00 ~ 14:00 (L.O) 17:30 ~ 20:30 (L.O)
火曜定休 駐車場あり

ピュアエール 検索 <http://www4.tokai.or.jp/PureAile/> ブログ



お正月の隠れた人気メニュー
12 種類のスパイスを用いた自家製カレーと10 日以上
煮込んだデミグラスソースが香るハヤシライスが登場！



写真はイメージです

2017 New Year
カレー & ハヤシセットフェア
12/31(土) ~ 1/6(金) 11:00 ~ 14:00 / 16:30 ~ 20:30

・カレーライス(ビーフ or チキン) または ハヤシライス
・サラダ・迎春特別デザート・コーヒー or 紅茶
通常 2,100 円相当をお年玉価格! **1,600 円** (税別)

Hotel Grand Fuji ホテルグランド富士
レストラン グラス GRASSE

ホテルグランド富士 レストラン グラス
富士市平垣町 8-1 TEL 0545-61-0360
ランチ 11:00 ~ 14:00
ディナー 16:30 ~ 21:00

ホテルグランド富士 検索 



合言葉は、ふぐに萌え燃え・・・♡



(社) 日本料理研究会技術理事
静岡県ふぐ協会会員

店主 志村 弘信 

ふぐ料理・・・フルコース 9,000 円 (税別)
昼席・・・1,500 円 (税別) ~ 夕席・・・3,000 円 (税別) ~

佳肴季凛

佳肴季凛
富士市厚原 765-1 TEL 0545-72-4911
昼 11:30 ~ 13:30 (L.O) 夜 17:30 ~ 21:30
月曜定休 個室・テーブル席完備

かこうきりん 検索 <http://kakoh-kirin.jp/> 



新年のご挨拶に——バラのマドレーヌ
お年賀ギフト 各種 **¥1,260** (税別) ~
【新たにパウンドケーキが登場しました】



〜バラのマドレーヌのお店〜 **L'angela** ランジェラ
sweet rose  L'angela

L'angela (ランジェラ)
富士市平垣町 6-1 TEL 0545-60-7708
営業時間 10:00 ~ 18:00 駐車場あり
日・月曜定休 (新年は 1/3(火) より営業)

ランジェラ 検索 <http://www.langela.info/> 



フレンチで迎える華やかなお正月



特製フレンチおせち【数量限定・ご予約受付中】
白木重 (6.5 寸) 2 段 30,000 円 1 段前菜 17,000 円
・ガトーショコラホール 1 台 ・フランスパン 1 本
がどちらの商品にもつきます

ランチコース 1,800 円・3,000 円・4,200 円・6,000 円
ディナーコース 4,500 円・6,000 円・8,000 円・10,000 円
※ ご来店の際は事前のご予約をおすすめいたします

L'Equation cuisine française
レクアション
富士市津田町 101-1 TEL 0545-52-2525
11:30 ~ 13:30 (L.O) 17:30 ~ 21:00 (L.O)
月曜・第 2 火曜定休 (12/27 ~ 1/2 は休み)

レクアション 検索 <http://www.lequation.jp/> 



event schedule

富士・富士宮 イベントスケジュール

12/23 (金・祝)
爽やかノルディックウォーキング
富士川と桜エビ
 JR 富士川駅 北口 9:30 ~ 13:30
 参加費: 500 円 (保険込・昼食別)
 対象: 一般的な体力で 1 時間程度のウォーキングが可能な方
 美しい富士山を見ながら旧富士川町を歩き、新蒲原で桜エビのランチを楽しめます。レンタルポール (要予約) もありますので、初心者の方も大歓迎です！
 ウォーキングステーション硝明堂 090-9921-0544

1/7 (土) ~ 9 (月・祝)
第 8 回 静岡県東部小品盆栽展
 Vol.120 でご紹介した池田豊さん(岳南小品盆栽会会長)の作品も出品されます。ぜひお出かけください。
 富士川楽座 2F フリースペース
 9:00 ~ 17:00 (最終日 ~ 16:00)
 会員が愛情込めて育てた盆栽が並ぶ会場で、新春の足音を聞いてください。ご自宅でもお楽しみいただける盆栽の即売もあります。
 池田 0545-51-5567

1/25 (水) 要申込
女性就活セミナー『女子的☆キャリア図鑑』
 富士市フィランセ西館 2F 視聴覚室 10:00 ~ 11:00
 ゲスト: 豊田 愛さん(コンビニエンスストア店長)
 上柳 尚美さん(営業事務)
 接客と事務、それぞれの職種によって違って来る業務内容や実務作業、そして「仕事と家庭の両立」について、お二人からヒントをもらいます。
 f きやる 0545-32-6958

1/31 (火) 要申込
文化講演会 東国原 英夫 (元宮崎県知事)
『ピンチをチャンスに』
 富士宮市民文化会館 大ホール 18:30 開場 19:00 開演
 入場料: 500 円 全席自由
 入場券は富士宮市役所文化課など、富士宮市公共施設各所で販売開始しています。人気が予想されますのでチケット売り切れの際はご容赦ください。
 富士宮市役所 文化課 0544-22-1187

12/11 (日)・23 (金・祝)・25 (日)
たまげたフリーマーケット
 富士マリンプール(富士市田中新田 275-9)
 9:00 ~ 12:30 雨天中止
 誰でも気軽にできるリサイクル・リユース活動、それがたまげたフリーマーケットです。マリンプールの広い駐車場で今年最後のお得でエコなお買い物をお楽しみください。
 NPO 法人 静岡リサイクル協会 054-363-1273

12/23 (金・祝)
体験型リラクゼーション空間 癒しCafe vol.10
 第一建設 本社 3F 会議室(富士市永田町 67-14)
 10:00 ~ 15:30
 各種マッサージ・占い&スピリチュアル・アロマやキャンドルなどのワークショップ・美味しいものの販売など、1 年間がんばったあなたを癒すワンデーショップです。
 キュアフラワー 吉房 090-7684-0379

1/7 (土) ~ 15 (日)
落ち葉のプール
 富士市 富士西公園および中央公園
 10:00 ~ 15:00 雨天・強風時は中止または中断
 対象: 保護者同伴の幼児・児童
 公園内の落ち葉を集めてつくったプールが出現する恒例イベント。申し込み不要・無料で参加できます。落ち葉のなかで自由に遊んで、冬ならではの自然を思いきり楽しもう！
 りぶす富士 公園事業課 0545-55-3553

**楽しいイベント情報や
 かわいいペットを
 『Face to Face』に掲載しませんか？**
 1/8 (日)以降のイベント情報募集中！
 ペットはめずらしい動物も大歓迎です。
 原則掲載無料です。お気軽にご連絡ください。
 ハガキ: 〒417-0049 富士市緑町 1-28
 星野新聞堂 Face to Face 編集部
 TEL: 0545-55-0033 (編集部直通)
 FAX: 0545-52-9757
 メール: facetoface@shinbundo.com
 フェイスブックのメッセージでもOK！
 『Face to Face 富士』で検索してね。

12/16 (金) 要申込
富士宮市立中央図書館講演会『脳を創る紙の本』
 富士宮市民文化会館 小ホール
 13:30 ~ 15:00 定員: 100 名 (先着)
 講師: 酒井邦嘉氏 (東京大学 大学院総合文化研究科 教授)
 電子書籍と紙の本、脳を創るのはどっち？脳科学からみる「媒体によって生じる差」についての講演です。申込みは富士宮市立中央図書館へ。(電話可・11/16 (水) ~ 受付開始済)
 富士宮市立中央図書館 0544-26-5062

12/23 (金・祝) 要申込
静岡県社会福祉協議会ふれあい基金助成事業 東北を応援しよう！公演
 富士宮市民文化会館 小ホール 13:30 開場 14:00 開演
 大震災の記憶を風化させず、被災者の心に寄り添いましょう！宮城の語り部による東北の民話や、語りと歌とギターによる物語を聞いてください。入場無料ですが、ご予約いただくに参加記念のプレゼントがあります！
 NPO 法人ギター音楽教育プロモーション 054-623-3433

1/8 (日)
富士市消防出初式
 富士市役所 北側駐車場 8:30 ~ 11:40
 ※雨天時はロゼシアターにて式典のみ執り行います。
 新しい年の安全を祈念するとともに、消防職員の士気を高める出初式。ドリル演奏・統制のとれた分列行進・迫力ある一斉放水・救助演技など、ぜひ来場してご覧ください。出初式の写真コンテスト(後日審査)も行います。
 富士市消防本部消防総務課 0545-55-2851



産経新聞社は『富士山女子駅伝』を後援しています



レストランウェディング

Restaurant Wedding





ご予約・お問い合わせは Tel.0545-51-7555
 静岡県富士市日乃出町38番地 アパホテル<富士中央> 2F

大切な方たちと






12/16(金)・17(土)・2/17(金)・18(土) **要申込**
星座観察会

富士市立少年自然の家 19:00 ～ 21:00
参加費:100円(小学生以上) 定員:各30名

本物の望遠鏡で夜空の世界を覗きます! この季節ならではのいつもと違う夜の時間を、ご家族やお友達とぜひお楽しみください。お申込み受付中です。

富士市立少年自然の家/丸火自然公園 0545-35-1697

12/24(土) **要申込**
Tap dance&Latin Jazz Night!

BLITZ(富士市久沢 222-1) 18:00 開場 18:30 開演
ミュージックチャージ:2,500 円

フルート(IZUMI)・タップダンス(丹精)・ピアノ(得田サトシ)・パーカッション(カルロス)のカルテットが織り成す極上のひと時をお楽しみください。お食事とデザートはクリスマス特別メニュー(別途注文)をご用意しています。

BLITZ(ブリッツ) 0545-32-7871

1/8(日)・9(月・祝)
くすの木学園・福祉サービス事業所合同即売会

アピタ富士吉原店 1F 催事場(富士市国久保 2-1-10)
9:00 ～ 18:00

富士・富士宮地区の授産施設が集まり、各事業所の授産品を販売します。くすの木学園はトイレットペーパー『ふじくすの木』・ペーパーフラワー・陶器・縫製品・ビーズ製品・雑貨などを販売しますので、ぜひお立ち寄りください。

富士市立福祉キャンパス くすの木学園 0545-35-0312

12/17(土)
100人クリスマスキャロル in 吉原商店街

吉原商店街/富士市民活動センター
13:00 ～ 14:30 (富士市吉原 2-10-20 ラクロス吉原 2F)

みんなで歌って街を盛り上げましょう! 英語講師がレクチャーするので、いま歌えなくても大丈夫です。そのほかプレゼント交換(300円程の物をご用意ください)やツリーの点灯などクリスマスムード満載です。当日参加もOKです。

富士市民活動センター コミュニティ f 0545-57-1221

12/24(土)
岳南電車 鉄道夜景電車

岳南電車 吉原駅ー岳南江尾駅間 往復
①吉 18:41 発ー江 19:02 着 江 19:05 発ー吉 19:26 着
②吉 19:35 発ー江 19:56 着 江 20:17 発ー吉 20:37 着

港や工場、街の明かりなど素朴で美しい夜景を見ていただくために後方車両を消灯して運行します。通常運賃で運行しますので、往復する場合は一日フリー乗車券がお得です。

岳南電車 本社(月～金) 0545-53-5111
吉原駅(土日祝) 0545-33-0510

1/14(土)
吉野弘のこころを詠む

富士市ロゼシアター 小ホール 13:00 開場 13:30 開始

第二回吉野弘の詩朗読コンクール決勝大会です。吉野さんの詩の優しさと、朗読者それぞれの表現をぜひ会場でお楽しみください。審査時間には杉山直さんの新郎読を上演します。入場にはロゼシアター・まちづくりセンター・中央図書館にて配布中の無料整理券をご用意ください。

オール富士さん! 杉山 050-5274-0633

12/18(日) **要申込**
富士山洞くつ探検

田貫湖ふれあい自然塾(富士宮市佐折 633-14)
9:45 ～ 12:30 参加費:2,000 円 定員:30 名
対象:小学生以上(小学生のみの参加は5年生以上)
持ち物:雨具・防寒着・懐中電燈・軍手・保険証
服装:動きやすい服装・濡れてもいい靴

観光ではなかなか行けない、富士山のおなかの中ヘレッツゴー! 約8千年前の噴火でできた洞くつを探検しよう!

田貫湖ふれあい自然塾 0544-54-5410

1/2(月・祝) ～ 12(木)
第33回 富士秀景写真展

富士川楽座 4F ギャラリーー
10:00 ～ 17:00(初日12:30 ～、最終日～16:00)

富士写真作家協会員による恒例の写真展です。富士山をメインモチーフに、美しい瞬間を切り取ったベストショットが新年の晴れやかな気分を盛り上げます。

FPS 富士写真作家協会 大坂 090-1629-6095

1/14(土) **要申込**
芯音 ～丸田美紀リサイタル～

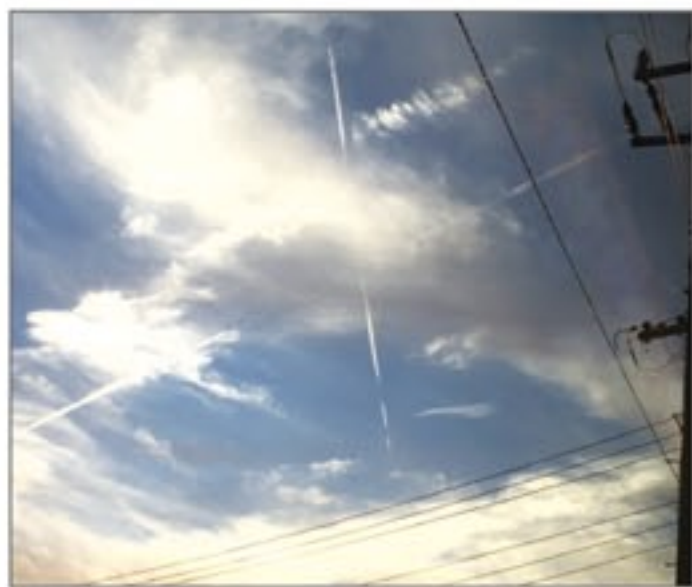
富士宮市民文化会館 大ホール 14:00 開場 14:30 開演
入場料:一般3,000円 高校生以下1,000円 当日3,500円

現代箏曲界においてトップクラスで活躍中の丸田美紀さん。助演に「邦楽界の貴公子」と称される藤原道山氏(尺八)、ロックと和楽器を融合させ注目をあびる沢井比河流氏(十七絃)を迎えた、お正月にぴったりの豪華な演奏会です。

丸田美紀リサイタル実行委員会 0544-23-9279

twitotter

つい撮ったー。



富士市

ひこうき雲 さん

空に巨大なXY 軸が! 交わる点に天国への扉があるのかな?



宝の地図の×印を連想しました。並行に走るひこうき雲は見たことがありますが、こんなにきれいにクロスして見えるのは、かなり珍しいのでは? (編集部)



富士市木島

右松4V さん

吉原のアピタ付近で撮りました。道路の案内表示が「¥」マークに見えて仕方がありませんでした(笑)。この道の先250mにはお金(お金)が沢山眠っているのかも(笑)

標識シリーズ第4弾です。なんだか金運の上がりそうないい地形ですね! 編集部からも近い道なのに今まで全然気が付きませんでした。(編集部)

あなたの1枚募集中!

「奇跡の瞬間」「クスッと笑えるモノ」「癒される表情」etc... あなたが身近で発見したネタを写真に撮って編集部まで! お住まい(町名)・お名前(ニックネーム可)・写真の説明文(40～60文字程度)を添えて、メールでお送りください。

facetoface@shinbundo.com
採用された方には粗品を進呈☆



※ 粗品発送先確認のため、投稿が採用された方には編集部よりご連絡いたします。メール受信設定などによりメールが届かない可能性がありますので、掲載された号の発行日より2週間以上経過した場合は、お手数ですが編集部までご連絡ください。

富士山格言 (七)

一富士二富士三も富士

▼ 初夢に限らず、年じゅう富士山の夢を見ている幸せな人を表した言葉。一方で、富士市民には初夢と初日の出は富士山とセットでなければならぬというプレッシャーがあるのか、仮に鷹や茄子の夢を見ても、目覚めた時点ではなぜか富士山のことしか覚えていないという現象を生むことがある。転じて、新商品やイベント名、地域情報紙の記事などの頭について「富士山」とつけたくなってしまうという地域性を表現する言葉としても、しばしば用いられる。

【このコーナーについて】

日本の象徴、そして富士地域の象徴である富士山——。古来より地元の人々の心のよりどころであり続けただけに、富士山にちなんだ格言・ことわざの類は数多く存在します。そのような格言の多くは文献に記録されず、口承によってのみ伝えられてきましたが、当編集部ではそれらを専門的調査に基づいた空想によって再編集し、毎回一遍の「富士山格言」としてご紹介いたします。

樟泉閣の忘新年会プラン



忘新年会
特サービス
ワイン無料
10名様につき1本(数量限定)
カラオケ無料
10名様以上
11月21日～1月31日まで

行く年を惜しみ
来る年の多幸を祝う場所
樟泉閣

女性必見!!
女性の為のお昼の忘新年会承り中

会席料理
(和食メニュー)
お料理
10品 ¥5,500
お料理
9品 ¥4,500

パーティー料理
(洋食メニュー)
お料理
10品 ¥5,500
お料理
9品 ¥4,500

飲み放題プラン
乾杯より2時間・20名様以上から
おひとり様 ¥2,000
・日本酒
(冷酒をのぞく) ・焼酎 ・ワイン
・ビール ・ジュース

- 便利な無料送迎バス(10名様以上でご利用のお客様)
- スクリーン・プロジェクター・カラオケなど音響設備も充実。
- 奉仕料・消費税別途かかります。
サービス料10%申し受けます。但しご利用額5,000円未満の場合500円/人
消費税は8%申し受けます。

三日市の森
樟泉閣
shosenkaku

☎0120-52-7661
〒417-0073 静岡県富士市浅間本町5-1
【営業時間】10:00 ～ 21:00 駐車場あり
www.shosenkaku.jp



～テイル トウ テイル～



しっぽでつながる
コミュニケーション

犬種：パグ

こてつ 虎哲くん

(男の子 1歳)

住んでいるところ：富士市宮島

Radio-f でおなじみ

“アニマルDr.ジャック”こと 勝亦先生の ワンポイントアドバイス

叱ってもやめない吠え癖を治すには？

犬が大きな声で吠えるのは、自分の身を守るためだけでなく、周りに危険を知らせなければいけないと感じているためです。つまり、自分がその家でリーダー的な位置にあって、目下の者(家族)に危機を教えようとしているわけです。この場合、吠え癖の根本解決は「人間がリーダーである」とはっきり分からせることです。えさは人間の食事が終わってから与え、散歩も人間が行きたいときに犬も連れて行くという気持ちでいるなど、全てのことを人間優先で、人間の指示のもと行うようにしましょう。

富士動物医療センター 富士市今泉 2302-3 TEL : 0545-57-0001 http://www.famcjp.com



出会いのエピソード

「黒のパグが飼いたいと思ってネットで調べたら、虎哲の情報を見つけました。どうしても虎哲に会いたくて、埼玉までお迎えに行っていました」



性格

「人懐っこくて、元気いっぱいやんちゃです。胸と右足先だけが白いところと、くると丸まったシッポがチャームポイントです」



名前の由来

「やんちゃだったので、元気なイメージの『虎』と、おりこうさんになるように哲学の『哲』という字をとって虎哲と名付けました」

虎哲くんへ一言

「元気で長生きしてね。これからもいっぱい遊ぼうね」

バイバァッ



Next

しっぽと しっぽ
でパトントッチ!!

つぎはだれかな?



見守り活動にご協力ください



市吉原西部地域包括支援センターのご協力のもと行ないました。これは当社配達員を対象に毎年行なっている講座で、今年で5回目になります。配達中の路上などで認知症の方が困っているのを見かけたときに、適切に声をかけたり必要に応じて関係各所に連絡するための知識を身につけるのが目的です。最近は多くの地元企業さんが事業所単位で受講されているようで、こういった活動は地域を挙げて草の根的に取り組むのが一番ですね。

また11月18日には当社配達員の前田浩二さんが、ご高齢者の方の交通事故を未然に防いだとして富

士警察署より感謝状をいただきました。同様の表彰は実はこれで3組目となります。こういった配達中の危険発見では、朝刊配達の間である夜中から未明にかけてご高齢者が道が分からなくなって困っていた、というケースが特に多いようです。「こんな時間の路上に誰もいるはずがない」と思っても、そこに歩行者がいる可能性は常にあります。夜中に運転するドライバーの皆様にはあらためて注意をお願いしたいと思います。



「認知症サポーター養成講座」のようす

読者プレゼント

A 焼きたてパン工房 いふりいと ラウンド



全5種類からお選びいただけます

1本 5名様

【いふりいと】富士市上横割184-3

B 岳南電車株式会社 岳ちゃん人形焼



吉原駅、吉原本町駅にて販売しています

1箱9個入り 5名様

【岳南電車株式会社】富士市今泉1-17-39

応募方法

下記の内容をご記入の上、ハガキまたはメールにてご応募ください。

①希望賞品名 ②氏名 ③年齢 ④住所 ⑤電話番号 ⑥「Face to Face」の入手先 ⑦「Face to Face」へ一言(今月号の感想、面白かった記事、紙面全般へのご意見・ご要望、今後取材して欲しい人など) ⑧プレゼント提供先に対する感想・イメージ・要望など

■ハガキ：〒417-0049 富士市緑町1-28 星野新聞堂「Face to Face」プレゼント係

■メール：facetoface@shinbundo.com

※ご応募は1世帯1通のみ受け付けます
※空メールでの応募は無効となります

締切り 12月26日(月) 必着

当選者の発表は引換券の発送をもって代えさせていただきます。賞品への交換は店頭にてご当選者様ご自身で行っていただきますので、ご了承ください。

応募用
QRコード

